

令和 3 年度決算に係る

定期 監査
資料
決算 審査

令和 4 年 7 月

農林水産部畜産振興局畜産課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	職員の定員、現員調べ	1頁
4	役付職員の調べ	1頁
5	主な事業に関する調べ	2頁
6	決算資料	7頁
7	事業別実施状況調べ	9頁
8	予備費の充用調べ	18頁
9	現金の取扱状況	18頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	19頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	24頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	26頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	26頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	26頁
15	備品の処分状況調べ	26頁
16	貸付金等状況調べ	26頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	27頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

(3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
		4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	
定員		3	3	12	12	0	0	15	15	
現員		(0) 3	(0) 3	(0) 13	(0) 12	(0) 0	(0) 0	(0) 16	(0) 15	過員
過不足(Δ)		0	0	1	0	0	0	1	0	
臨時的 任用職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員		1	1	0	0	0	0	1	1	事務補助

4 役付職員の調べ

(令和4年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
課長	田中 成彦	3	3	
家畜衛生・防疫対策室長	寺坂 陽一郎	2	3	
課長補佐	中島 始子	0	3	
課長補佐	井上 真寛	1	3	
課長補佐	近藤 寿代	0	3	
課長補佐	谷口 真澄	1	3	5年3月
課長補佐	小江 敏明	3	3	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県和牛振興計画推進事業	57,982			(鳥取和牛振興戦略基金) 57,982	
将来ビジョン	1 (4) 農林水産物のブランド確立と多様な担い手が活躍				
令和新時代創生戦略	1 (2) ①農林水産業の活力増進 SDGsゴール/02 飢餓をゼロに				
政策項目	2 (1) 農業生産9百億円・製造品出荷9千億円に挑戦				
(概要)					
1 事業の目的、概要					
令和2年10月に制定した「鳥取県産和牛の保護及び振興に関する条例」に基づき、和牛振興計画を策定。その計画実現に向けて様々な施策を実行し、県産和牛の遺伝資源保護や県産和牛の産業振興を図る。					
2 事業の内容、実施の状況					
事業内容	実績額 (千円)		事業実績	実施主体	
	事業費	うち県費			
県内ゲノム優良雌牛保留対策 雌子牛保留	7,800	7,800	65頭	JA	
" (特に優秀な牛)	2,500	1,250	5頭	鳥取県和牛 生産者連絡 協議会	
特定種畜肥育素牛保留対策	10,480	10,480	131頭	JA	
繁殖雌牛増頭加速化	80,356	13,180	99頭	JA	
鳥取和牛緊急増頭	27,352	13,673	166頭	JA	
国事業を活用した施設整備支援	0	0	実績なし	JA	
優秀受精卵購入助成	3,567	1,174	65個	JA	
和子牛市場活性化	20,564	10,282	ゲノム検査1,715頭 ワクチン投与2,400頭	鳥取県和牛 生産者連絡 協議会	
鳥取県和牛振興会議	144	144	遺伝資源管理部会4回 改良部会1回 加工流通販売部会1回	畜産農家、 農業団体、 生産者団体 等	
3 事業成果 (改善状況)・課題等					
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から、これまでの受精卵を移植した場合の補助から、県の和牛改良目標に合致する受精卵を購入し移植した場合の補助に見直しを行った。また、鳥取県の和子牛市場の価値を高めるため、和子牛セリ上場牛へのワクチン投与や雌子牛のゲノム育種価表記等への支援事業を開始した。 令和3年4月から和子牛セリ上場牛へのワクチン投与や雌子牛のゲノム育種価表記を開始し、全国から注目される和子牛市場として、令和2年次、令和3年次の2年連続で和子牛セリ市場の価格ランキング全国1位を獲得した。 県内の繁殖雌牛頭数は、令和3年に5,067頭と当初目標の5,000頭を達成したが、肥育牛飼養頭数は令和3年実績で6,500頭 (H29年: 5,870頭) であり、繁殖雌牛ほどの増頭に繋がっていない。原因としては和子牛価格の高騰に伴う肥育素牛の導入難、一貫農家が肥育頭数より子牛出荷頭数を増やす傾向(子牛で出荷の方が利益が言いと判断)であること、及び増頭するための牛舎がないことが考えられる。 					

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
畜産クラスター施設整備事業	(360,237) 360,237	(352,617) 352,617		(諸収入) (7,620) 7,620	
将来ビジョン	1 (4) 農林水産物のブランド確立と多様な担い手が活躍				
令和新時代創生戦略	1 (2) ①農林水産業の活力増進 SDGsゴール/02 飢餓をゼロに				
政策項目	2 (1) 農業生産9百億円・製造品出荷9千億円に挑戦				

1 事業の目的、概要

畜産生産基盤の強化を図るため、国庫補助事業（畜産クラスター事業（畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業））を活用し施設整備を行う法人等を支援する。

2 事業の内容、実施の状況

畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体が行う規模拡大のための施設・機械整備を支援する。

(単位：千円)

事業実施主体	関係市町	畜種	内容	総事業費	補助額	補助率
鳥取県中西部地域 クラスター協議会	琴浦町	酪農	牛舎、搾乳施設 の設計	16,764	7,620	基金1/2 ※
鳥取地域全農 クラスター協議会	大山町	養豚	豚舎新築、 堆肥化施設整備	826,650	352,617	国庫1/2
合計				843,414	360,237	

※基金管理団体からの補助金で実施。

3 事業成果（改善状況）・課題等

- ・国が平成27年度補正から始めた畜産クラスター事業を活用して、規模拡大に必要な牛舎等の整備を順次進めている。（県内では19地区で事業を実施しており、うち1地区は実施中）
- ・これまでに29棟の牛舎、10棟の堆肥舎、飼料庫等の施設が整備されて増頭が進んでおり、県内の畜産振興に大きく貢献している。
- ・近年の建築資材や機械等の輸入の遅延や、価格の高騰による建築費用の大幅な増加により、予定通りの事業実施が難しくなっている。飼料価格高騰も相まっていることから、無理のない事業計画の作成を支援していく必要がある。

【畜種別 これまでの増頭数】

畜種	乳牛（成牛）	肉用繁殖牛	肉用肥育牛	母豚	肥育豚
増頭数	1,340	132	541	254	6,089

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
特定家畜伝染病危機管理対策事業	42,281	15,872		(手数料) 19,817	6,592
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—	SDGsゴール：2 飢餓をゼロに			
政策項目	—				
(概要)					
1 事業の目的、概要					
国内発生を繰り返す高病原性鳥インフルエンザや、本州全域に感染拡大しつつある豚熱等の特定家畜伝染病の県内発生を防止する。また、万が一の県内発生に備え、迅速な処分作業や更なる感染拡大を防ぐための体制強化や物資の確保を進める。					
2 事業の内容、実施の状況					
(1) 防疫対応力向上					
ア 防疫演習、水際対策等					
特定家畜伝染病の県内での発生に備え、各地区で防疫演習や家畜防疫員の訓練を実施した。また、口蹄疫等の海外からの侵入を防止する目的で、境港、美保飛行場及び鳥取空港における国際定期便・臨時便旅行者への靴底消毒を委託した(新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし)。					
○令和3年度防疫演習等の実施					
内容		実施状況	概要		
各地区防疫演習		本庁、各地区 計8回	鳥インフル・豚熱机上訓練、ロールプレイング、防疫服脱着・消毒ポイント演習等		
家畜防疫員訓練		1回	防疫業務リーダー研修(宮崎県での高病原性鳥インフルエンザ発生時の対応について講義、意見交換)		
		各家保単位で実施	全国一斉机上演習(47都道府県一斉点検)		
○養豚場、養鶏場における野生動物侵入防止対策					
事業		概要			
庁内連絡会議の開催		計24回(鳥インフル11回、豚熱12回、鳥インフル・豚熱合同1回)			
消石灰の配布と散布を指示		全養鶏場2回(11月、1月)計7,800袋 全養豚場1回(1月)1,100袋			
イ 防疫備蓄資材の配備					
迅速な初動防疫に備え、防疫作業に必要な防護服、手袋、N95マスク等の資材を備蓄した。					
ウ 農場の飼養衛生管理基準の遵守指導					
令和2年7月の家畜伝染病予防法の改正に伴い、家畜飼養衛生管理基準の遵守事項が大幅に強化されたことから、生産者へ周知するとともに家畜保健衛生所による巡回指導を実施した。					
(2) 豚熱対策					
ア 県内飼養豚へのワクチン接種					
令和3年3月に兵庫県において野生いのししの感染が確認されたことに伴い、鳥取県がワクチン接種推奨地域に指定されたことから、令和3年4月から県内飼養豚等全頭に対し県職員獣医師により豚熱ワクチンを一斉接種(約5万頭)し、その後繁殖豚への補強接種や生まれてくる子豚、導入豚へ追加接種を実施した。また、ワクチン接種体制を強化するため、県職員獣医師に加え民間獣医師(知事認定獣医師)によるワクチン接種を8月から開始した。					
○令和3年度の接種頭数 計160,377頭					
イ 野生いのししへの経口ワクチン散布					
県東部の兵庫県境付近に豚熱経口ワクチンを散布した(10月~12月に2回実施、240地点に計9,600個)。岡山県も令和4年2月から兵庫県側に経口ワクチンの散布を開始し、鳥取県と岡山県で連携した経口ワクチンベルトを形成した。					

また、狩猟者、登山者等へ対し、野生いのししの感染拡大防止のための衛生対策についてチラシ配布や県ホームページで注意喚起を実施した。

ウ 野生いのししの血液採材委託

野生いのししの豚熱感染状況把握のため、捕獲野生いのししの血液採材を委託し、豚熱検査を実施した。県内で捕獲又は死体で発見されたいのししは、豚熱の遺伝子検査結果が全て陰性だった。

委託先	検査頭数
一般社団法人鳥取県猟友会	304頭（東部138頭、中部111頭、西部55頭）

(3) 特定家畜伝染病セーフティーネット事業

高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫等の県内発生に備え、移動制限等の措置で生じた周辺農家の損失等を補償することで、農家の経営維持・再開が可能となる支援体制を整えた（発動なし）。

(4) 家畜伝染病迅速防疫体制整備事業

高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫等の家畜伝染病が県内で発生した場合に、県が殺処分家畜などの焼却、埋却等を実施することで、迅速かつ的確な防疫措置が可能となる体制を整備した（発動なし）。

3 事業成果（改善状況）・課題等

- ・養豚場の野生いのしし侵入防護柵、養鶏場防鳥ネットの全戸設置で野生動物から農場へのウイルス侵入を防止するとともに、農場の飼養衛生管理基準の遵守指導を行った結果、本県では高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生はなかった。
- ・野生いのししの豚熱サーベイランス検査が、令和2年度の140頭から令和3年度は304頭へ増加し、ウイルスの侵入監視体制を強化した。今のところ陽性事例は確認されていないが、令和4年3月に広島県及び山口県、5月には島根県において野生いのししの感染事例が発見されたことから、県東部地域だけでなく、県西部地域での対策を強化する必要がある。
- ・豚熱ワクチン接種は家畜保健衛生所の通常業務を大きく圧迫しているため、令和3年8月から、知事が認定した民間獣医師による接種体制も整えた。
- ・家畜保健衛生所の業務負担解消と安定したワクチン接種体制の構築のため、鳥取県獣医師会と連携して民間獣医師による接種体制を強化するとともに、大規模農場では雇用獣医師による接種へ誘導するなどの対応を進めることが必要。

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
獣医師確保対策事業	561				561
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—	SDGsゴール：2 飢餓をゼロに			
政策項目	—				

(概要)

1 事業の目的、概要

県職員獣医師（家畜防疫員）や家畜診療所獣医師等を確保するため、職員募集情報をインターネット等のツールを活用して発信する。また新卒者から社会人まで求職希望者に対してきめ細やかな対応を行う。

2 事業の内容、実施の状況

区分	取組内容
獣医系大学訪問	・Web説明会参加 7校 ・資料(PDF、動画)送付 1校
社会人獣医師インターンシップ助成	0人 ※1名申込みがあったが新型コロナ感染拡大により中止
獣医系大学生のインターンシップの受け入れ	・鳥取大学の実習 16人（対面実施6人、オンライン実施10名） ・個人申込（麻布大学）1人 ※（公社）中央畜産会 を通じた申込が2人あったが、新型コロナウィルス感染拡大により中止
職員募集情報の提供（広報）	・獣医系専門誌3誌への広告掲載4回 ・検索サイト（google）へのweb広告掲載 ・県ホームページ掲載 ・YouTube動画配信 ・全国17大学（国立大学及び私立大学）に県職員募集案内を郵送
獣医師職業マッチング	鳥取県ホームページに開設した獣医職業マッチングサイト（無料職業紹介）に県内獣医師募集情報2件を掲載
高校生セミナー開催	（公社）鳥取県獣医師会と鳥取県の共催により、高校生に獣医系大学の進学や学生生活、獣医師の職場等について説明 （参加者：高校生10名、保護者7名）

3 事業成果（改善状況）・課題等

- ・新型コロナウイルスの影響で大学訪問や説明会の開催に制限がかかったことから、大学の就職説明会への参加や県獣医師会との共催による高校生セミナーをオンラインで行ったほか、獣医系専門誌やウェブサイトにも県職員獣医師追加募集広告を掲載するなどの活動を行った。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大により他県でのインターンシップが受講できなくなった学生も含め、鳥取大学の獣医学生を積極的に受け入れた。（例年5名→令和3年度16名）
この結果、令和4年4月には、県内でのインターンシップ経験者1名が鳥取県職員として入庁した。
- ・本事業以外にふるさと獣医師修学資金を4名に貸与して獣医師確保に努めるとともに、県職員採用試験（追加募集）は随時募集に切り替えているところであり、令和4年4月から県獣医師職員の初任給調整手当が大幅に引き上げられたため、広報や勧誘活動、インターンシップ等を通じて周知していくこととしている。

6 決算資料
一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算額				現額			調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	計	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	計	計					
	行政財産使用料	287,000	0		287,000			319,400	319,400	0	0		
	農林水産業手数料	31,574,000	0		31,574,000			33,876,250	33,876,250	0	0		
	農林水産業費国庫補助金	90,224,000	2,169,000	(754,228,000)	846,621,000	754,228,000		403,712,769	(352,617,000)	0	0		
	財産貸付収入	6,920,000	0		6,920,000			4,722,795	4,722,795	0	0		
	利子及び配当金	8,000	0		8,000			4,181	4,181	0	0		
	物品売払収入	0	0		0			222,220	222,220	0	0		
	生産物売払収入	275,917,000	170,000,000		445,917,000			410,826,614	410,826,614	0	0		
	家畜類売払収入	40,693,000	0		40,693,000			37,771,302	37,771,302	0	0		
	和牛振興戦略基金繰入金	342,680,000	△28,155,000		314,525,000			128,227,587	128,227,587	0	0		
	農畜産業振興機構受託事業収入	3,130,000	0		3,130,000			3,585,785	3,585,785	0	0		
	地方競馬全国協会受託事業収入	105,000	0		105,000			105,000	105,000	0	0		
	家畜改良センター受託事業収入	55,000	0		55,000			55,000	55,000	0	0		
	畜産環境整備機構受託事業収入	154,000	0		154,000			216,000	216,000	0	0		
	近畿大学受託事業収入	1,200,000	0		1,200,000			1,200,000	1,200,000	0	0		
	連携団体研究受託事業収入	19,800,000	0		19,800,000			24,016,400	24,016,400	0	0		
	脂肪酸組成分析受託事業収入	1,000,000	0		1,000,000			272,800	272,800	0	0		
	東京農工大学受託事業収入	0	1,813,000		1,813,000			1,813,000	1,813,000	0	0		
	雑入	33,718,000	0	(381,795,000)	415,513,000	381,795,000		(7,620,000)	(7,620,000)	0	0		
				381,795,000				42,656,918	42,656,918	0	0		

農林水産業債	40,000,000	△23,000,000		17,000,000	15,000,000	15,000,000	0	0
災害復旧債	0	3,000,000		3,000,000	3,000,000	3,000,000	0	0
合計	887,465,000	125,827,000	(1,136,023,000) 1,136,023,000	(1,136,023,000) 2,149,315,000	(360,237,000) 1,111,604,021	(360,237,000) 1,111,604,021	0	0

(単位：円)

一般会計（歳出）

区分	科目	予算			現額			支出済額の内訳			翌年度繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計 A	支出済額 (決算額) B	本庁	出納機関				
歳出	畜産総務費	673,793,000	20,514,000		17,038,600	711,345,600	689,173,981	675,855,550	13,318,431			22,171,619	
	畜産振興費	687,488,000	145,089,000	(1,136,023,000)	△18,182,000	1,950,418,000	(360,237,000)	(360,237,000)	54,099,991	(7,680,000)	(768,106,000)		
	家畜保健衛生費	219,945,000	2,938,000		1,783,400	224,666,400	125,944,843	55,445,922	70,498,921			98,721,557	
	畜産試験場費	197,191,000	6,169,000		3,360,000	206,720,000	191,106,036		191,106,036		12,685,000	2,928,964	
	中小家畜試験場費	73,270,000				73,270,000	70,957,650		70,957,650			2,312,350	
建設災害復旧費		3,405,000			3,405,000	3,404,500	3,404,500				500		
合計	1,851,687,000	178,115,000	(1,136,023,000)	4,000,000	3,169,825,000	2,043,194,222	1,679,157,893	364,036,329		(7,680,000)	1,067,935,246		

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用 額) A-B-C	執行 率 B/A																										
	当初予算額	補正予算 額	継続費及 び繰越事 業費繰越 額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減					計 A																									
(畜産総務費)																																		
職員人件費	665,555,000	20,514,000		1,222,000	687,291,000	666,986,997	0	20,304,003	97.0																									
事業計画と 実績・成 果、繰越、 不用額の理 由等	<p>【流用】 畜産試験場費 和牛産肉能力検定試験から 1,222,000 畜産関係職員（一般職員81人ほか、会計年度任用職員）の人件費 （一般職員の内訳）</p> <table border="1"> <tr> <td>畜産課 16人</td> <td>畜産試験場 20人</td> <td>中小家畜試験場 12人</td> </tr> <tr> <td>経営支援課 1人</td> <td>農業大学校 1人</td> <td>鳥取家畜保健衛生所 6人</td> </tr> <tr> <td>倉吉家畜保健衛生所 15人</td> <td>西部家畜保健衛生所 10人</td> <td></td> </tr> </table>								畜産課 16人	畜産試験場 20人	中小家畜試験場 12人	経営支援課 1人	農業大学校 1人	鳥取家畜保健衛生所 6人	倉吉家畜保健衛生所 15人	西部家畜保健衛生所 10人																		
畜産課 16人	畜産試験場 20人	中小家畜試験場 12人																																
経営支援課 1人	農業大学校 1人	鳥取家畜保健衛生所 6人																																
倉吉家畜保健衛生所 15人	西部家畜保健衛生所 10人																																	
畜産管理運 営費	8,238,000			15,816,600	24,054,600	22,186,984	0	1,867,616	92.2																									
	<p>【流用】 畜産振興費 県優良種雄牛造成事業から 600,000 畜産経営安定対策事業から2,500,000 生乳増産対策支援事業から2,500,000 第15回日本ホルスタイン共進会对策事業から1,500,000 畜産災害復旧支援事業から6,500,000 家畜保健衛生費 家畜保健衛生所管理運営費から804,600 家畜衛生総合対策費から1,412,000</p> <p>1 畜産関係機関の連絡調整費及び庁用事務費として支出した。 2 家畜人工授精師・家畜商等の講習会や免許交付事務を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>講 習 会</th> <th>受講者数</th> <th>免許(再)交付件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家畜人工授 精師関係</td> <td>家畜人工授精師講習会 期間：R4.1.19～R4.2.16 会場：畜産試験場</td> <td>10名</td> <td>免許交付（21件） 免許・合格証再交付（1件） 開設許可証交付（9件） 開設許可証書換交付（1件）</td> </tr> <tr> <td>家畜人工授 精師関係</td> <td>家畜体内受精卵移植講習会 期間：R4.2.21～R4.3.15 会場：畜産試験場</td> <td>5名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>家畜商関係</td> <td>家畜商講習会 期間：R3.12.16～R3.12.17 会場：鳥取県中部総合事務所</td> <td>3名</td> <td>免許書換交付（1件）</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 家畜生産の状況を早期に調査し、生産出荷調整の基礎資料とするとともに、関係者に情報提供した。</p> <table border="1"> <tr> <td>肉豚</td> <td>全農家（18戸：R3年度末）の毎月1日現在の飼養頭数・種付頭数・分娩頭数・子豚生産頭数等を調査</td> </tr> <tr> <td>ブロイラー</td> <td>ブロイラー生産・出荷農家の毎月月末時点の出荷羽数、出荷先、ヒナの導入羽数等を調査</td> </tr> <tr> <td>みつばち</td> <td>転飼の適正化を図るため、3月に転飼調整会議を開催</td> </tr> <tr> <td>地どり</td> <td>鳥取地どり振興のため、生産状況等に係る調査を行った。</td> </tr> <tr> <td>和牛</td> <td>（公社）鳥取県畜産推進機構へ出荷頭数調査を委託した。 令和3年出荷頭数：3,174頭、委託費：158,557円</td> </tr> </table>								区分	講 習 会	受講者数	免許(再)交付件数	家畜人工授 精師関係	家畜人工授精師講習会 期間：R4.1.19～R4.2.16 会場：畜産試験場	10名	免許交付（21件） 免許・合格証再交付（1件） 開設許可証交付（9件） 開設許可証書換交付（1件）	家畜人工授 精師関係	家畜体内受精卵移植講習会 期間：R4.2.21～R4.3.15 会場：畜産試験場	5名		家畜商関係	家畜商講習会 期間：R3.12.16～R3.12.17 会場：鳥取県中部総合事務所	3名	免許書換交付（1件）	肉豚	全農家（18戸：R3年度末）の毎月1日現在の飼養頭数・種付頭数・分娩頭数・子豚生産頭数等を調査	ブロイラー	ブロイラー生産・出荷農家の毎月月末時点の出荷羽数、出荷先、ヒナの導入羽数等を調査	みつばち	転飼の適正化を図るため、3月に転飼調整会議を開催	地どり	鳥取地どり振興のため、生産状況等に係る調査を行った。	和牛	（公社）鳥取県畜産推進機構へ出荷頭数調査を委託した。 令和3年出荷頭数：3,174頭、委託費：158,557円
区分	講 習 会	受講者数	免許(再)交付件数																															
家畜人工授 精師関係	家畜人工授精師講習会 期間：R4.1.19～R4.2.16 会場：畜産試験場	10名	免許交付（21件） 免許・合格証再交付（1件） 開設許可証交付（9件） 開設許可証書換交付（1件）																															
家畜人工授 精師関係	家畜体内受精卵移植講習会 期間：R4.2.21～R4.3.15 会場：畜産試験場	5名																																
家畜商関係	家畜商講習会 期間：R3.12.16～R3.12.17 会場：鳥取県中部総合事務所	3名	免許書換交付（1件）																															
肉豚	全農家（18戸：R3年度末）の毎月1日現在の飼養頭数・種付頭数・分娩頭数・子豚生産頭数等を調査																																	
ブロイラー	ブロイラー生産・出荷農家の毎月月末時点の出荷羽数、出荷先、ヒナの導入羽数等を調査																																	
みつばち	転飼の適正化を図るため、3月に転飼調整会議を開催																																	
地どり	鳥取地どり振興のため、生産状況等に係る調査を行った。																																	
和牛	（公社）鳥取県畜産推進機構へ出荷頭数調査を委託した。 令和3年出荷頭数：3,174頭、委託費：158,557円																																	

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用 額) A-B-C	執行 率 B/A
	当初予算額	補正予算 額	継続費及 び繰越事 業費繰越 額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A				
	4 畜産経営に起因する環境汚染の防止を図るため、経営農家に対する実態調査・指導を実施し、畜産環境保全の推進に努めた。								
	農家実態調査				344戸				
	畜産経営に起因する苦情発生件数				14件				
	水質検査 (8項目)				12戸				
	臭気検査 (2項目)				16戸				
目 計	673,793,000	20,514,000		17,038,600	711,345,600	689,173,981		22,171,619	
(畜産振興費)									
鳥取県和牛 振興戦略基 金	227,015,000	170,000 ,000	0	0	397,015,000	363,246,841		33,768,159	91.5
事業計画と 実績・成果、 繰越、不用 額の理由等	【主な不用額の理由】 令和3年11月以降、新たに2頭の県有種雄牛の精液販売を行ったが販売見込本数が2月補正時点で確定しておらず、多めに予算を確保したため。								
	和牛の増頭や改良など鳥取県の和牛振興に向けた事業の財源に充当するため、県有種雄牛の精液販売収入や(一社)家畜改良事業団への貸付料を本基金へ積立てた。								
	種雄牛精液販売収入		361,042,660円						
	利息(前年度分)		4,181円						
	種雄牛貸付料		2,200,000円						
	合計		363,246,841円						
鳥取県和牛 遺伝資源管 理システム 整備事業	34,028,000	0	0	0	34,028,000	1,246,250	32,780 ,000	1,750	3.7
事業計画と 実績・成果、 繰越、不用 額の理由等	【繰越】 国が構築する精液等流通システムの整備の遅れに伴い、そのシステムを活用した県独自の遺伝情報管理システムの年度内完了が困難となったため。								
	国システムを活用した授精証明書の発行ができるように、鳥取県家畜改良協会が県内家畜人工授精師へ貸付するモバイルプリンタの整備に必要な経費に対し補助を行った。								
鳥取県和牛 振興計画推 進事業	224,603,000	△28,155 ,000		△16,220 ,000	180,228,000	57,981,756		122,246 ,244	32.2
事業計画と 実績・成果、 繰越、不用 額の理由等	【流用】 畜産振興費 県優良種雄牛造成事業へ △10,113,000 畜産振興費 第12回全共出品対策事業へ △1,525,000 畜産試験場費 試験研究費へ △4,582,000								
	【主な不用額の理由】 新型コロナウイルスの影響で県外せり市場へ行く機会が減り、また県内市場は価格が高く、雌牛や肥育素牛の導入が進まなかった。								
	主な事業に関する調べのとおり								

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A																																					
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A																																									
県優良種雄牛造成事業	36,583,000	0		9,513,000	46,096,000	33,730,080	0	12,365,920	73.2																																					
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	<p>【流用】畜産振興費 鳥取県和牛振興計画推進事業から 10,113,000 畜産総務費 畜産課管理運営費へ △600,000</p> <p>【主な不用額の理由】 補てん対象の子牛や肥育牛が高価格で販売されたため、補てん額が抑えられた。</p> <p>1 種雄牛を造成するため、雌牛群の確保、雄牛の購入、後代検定用子牛の交配、後代検定を実施する肥育農家へ価格補償を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>実績内訳(円)</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(公社)鳥取県畜産推進機構</td> <td>1,384,087</td> <td>育種価算出事業(委託料)</td> </tr> <tr> <td>3,753,418</td> <td>改良推進基金造成(補助金)</td> </tr> <tr> <td>鳥取県和牛育種組合</td> <td>100,000</td> <td>系統雌牛保留支援(補助金)</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">県</td> <td>117,500</td> <td>改良基礎雌牛整備費(補助金)</td> </tr> <tr> <td>1,890,000</td> <td>後代検定手当(報償費)</td> </tr> <tr> <td>4,546,000</td> <td>後代検定用牛づくり(報償費)</td> </tr> <tr> <td>3,813,925</td> <td>後代検定経営補償費(補てん)</td> </tr> <tr> <td>554,850</td> <td>遺伝病検査料(役務費)</td> </tr> <tr> <td>5,203,000</td> <td>直検牛購入(備品購入)</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>和牛改良委員会(報償費、旅費)</td> </tr> <tr> <td>55,000</td> <td>標準事務費(需用費、使用料)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21,417,780</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 次世代の種雄牛を造成するため、県外から高能力雌牛を導入した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>実績内訳(円)</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県(畜産試験場)</td> <td>12,312,300</td> <td>2頭導入</td> </tr> </tbody> </table>									事業実施主体	実績内訳(円)	事業概要	(公社)鳥取県畜産推進機構	1,384,087	育種価算出事業(委託料)	3,753,418	改良推進基金造成(補助金)	鳥取県和牛育種組合	100,000	系統雌牛保留支援(補助金)	県	117,500	改良基礎雌牛整備費(補助金)	1,890,000	後代検定手当(報償費)	4,546,000	後代検定用牛づくり(報償費)	3,813,925	後代検定経営補償費(補てん)	554,850	遺伝病検査料(役務費)	5,203,000	直検牛購入(備品購入)	0	和牛改良委員会(報償費、旅費)	55,000	標準事務費(需用費、使用料)	合計	21,417,780		事業実施主体	実績内訳(円)	事業概要	県(畜産試験場)	12,312,300	2頭導入
事業実施主体	実績内訳(円)	事業概要																																												
(公社)鳥取県畜産推進機構	1,384,087	育種価算出事業(委託料)																																												
	3,753,418	改良推進基金造成(補助金)																																												
鳥取県和牛育種組合	100,000	系統雌牛保留支援(補助金)																																												
県	117,500	改良基礎雌牛整備費(補助金)																																												
	1,890,000	後代検定手当(報償費)																																												
	4,546,000	後代検定用牛づくり(報償費)																																												
	3,813,925	後代検定経営補償費(補てん)																																												
	554,850	遺伝病検査料(役務費)																																												
	5,203,000	直検牛購入(備品購入)																																												
	0	和牛改良委員会(報償費、旅費)																																												
	55,000	標準事務費(需用費、使用料)																																												
合計	21,417,780																																													
事業実施主体	実績内訳(円)	事業概要																																												
県(畜産試験場)	12,312,300	2頭導入																																												
鳥取和牛ブランド強化対策事業	4,275,000				4,275,000	2,145,647		2,129,353	50.2																																					
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	<p>【主な不用額の理由】 新型コロナウイルスの影響で、東京市場へ牛を出荷した生産者が随行を見合わせたことや、予定していた研修会等が中止された。</p> <p>「鳥取和牛」のブランド強化のため、肥育牛の東京出荷輸送等にかかる経費を助成した。 県有種雄牛“白鵬85の3”“元花江”に限定した枝肉研究会を3月に初めて東京市場で開催し、鳥取和牛のPRを行った。 鳥取県産牛肉の周知や関係者の技術研鑽のため、研修会や枝肉共励会の開催を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実績内訳(円)</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京市場出荷支援</td> <td>1,406,650</td> <td>136頭出荷</td> </tr> <tr> <td>共励会等開催支援</td> <td>488,997</td> <td>研修会1回、共励会2回</td> </tr> <tr> <td>ブランド向上対策</td> <td>250,000</td> <td>東京市場で特定種畜枝肉研究会を開催</td> </tr> </tbody> </table>										実績内訳(円)	事業概要	東京市場出荷支援	1,406,650	136頭出荷	共励会等開催支援	488,997	研修会1回、共励会2回	ブランド向上対策	250,000	東京市場で特定種畜枝肉研究会を開催																									
	実績内訳(円)	事業概要																																												
東京市場出荷支援	1,406,650	136頭出荷																																												
共励会等開催支援	488,997	研修会1回、共励会2回																																												
ブランド向上対策	250,000	東京市場で特定種畜枝肉研究会を開催																																												

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予備費 支出及び 流用増減					計 A
第12回全 共出品対策 事業	7,599,000			1,525,000	9,124,000	7,663,854	1,460,146	84.0	
事業計画と 実績・成果、 繰越、不用 額の理由等	【流用】畜産振興費 鳥取県和牛振興計画推進事業から 1,525,000 令和4年に鹿兒島県で開催される第12回全共に出品する牛を管理するために必要な経費などについて助成した。								
	事業内容					実績額(円)			
						事業費 (円)	うち県費 1/2		
	出 品 対 策 事 業	地域出品対策協議会 活動費	地域出品対策協議会の活動費への助成(3協議会)			916,040			
		出品対策部会主催講習会開催費	削蹄、調教技術、毛刈り、審査研究会等の開催			0			
		指定交配漏れ助成	導入漏れした牛に対して繁殖農家への助成			9,188,793			
		種牛保留助成費(飼育管理費)	種牛の部 全共候補牛として保留した場合の助成			431,600			
		肥育保留助成費(飼育管理費)	肉牛の部 全共候補牛として保留した場合の助成			3,180,000	7,446,191		
		削蹄助成費	出品牛の削蹄費助成			292,000			
		集合審査開催費	集合審査のための運賃助成・ワクチン接種代等			883,950			
県共進会報償費		県共進会においてグランドチャンピオンを取った牛を出品した地域への報償費			0				
生産振興大会開催経費		肉用牛振興大会開催経費の助成			0				
事務局経費		推進委員会、出品対策部会、巡回経費を助成する。			435,326	217,663			
合計					15,327,709	7,663,854			
畜産経営安定対策事業	121,435,000	△38,920,000		△17,251,000	65,264,000	64,650,996	613,004	99.1	
事業計画と 実績・成果、 繰越、不用 額の理由等	【流用】畜産振興費 公共育成牧場施設維持管理業務へ △14,751,000 畜産総務費 畜産課管理運営費へ △2,500,000								
	畜産経営者の経営安定を図るため、出荷した牛、豚の価格が低落した場合に赤字部分を補てんする財源となる基金への生産者積立分の助成および県分を負担した。								
	1 肉用牛肥育経営安定対策事業								
	牛肉の枝肉価格の低落に対する補てん金の財源となる基金への積立金への助成。								
	実施主体 (公社)鳥取県畜産推進機構								
	事業費 134,139,000円(国3/4、生産者1/4：生産者分の1/3を助成)								
	補助金額 44,525,200円								
	区分		令和3年1-3月			令和3年4-12月			
	肉専用種		単価：70,000円、出荷頭数：809頭			単価：5,000円、出荷頭数：3,239頭			
	乳用種		単価：19,000円、出荷頭数：777頭			単価：11,000円、出荷頭数：2,457頭			
交雑種		単価：20,000円、出荷頭数：200頭			単価：13,000円、出荷頭数：1,162頭				

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A											
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予備費 支出及び 流用増減					計 A										
2 肉豚経営安定対策事業 豚肉の枝肉価格の低落に対する補てん金の財源となる基金への積立金への助成。 実施主体 (公社) 鳥取県畜産推進機構 事業費 41,844,800円 (国3/4、生産者 1/4：生産者分の1/3を助成) 補助金額 13,913,396円 令和3年度第1～4四半期 単価：400円、出荷頭数：104,612頭																			
3 肉用子牛価格安定事業 子牛価格の低落に対する補てん金の財源となる基金への県負担分を積み立てた。 実施主体 (公社) 鳥取県畜産推進機構 事業費 24,849,600円 (国1/2、生産者 1/4、県1/4) 補助金額 6,212,400円																			
			令和3年1-12月																
	肉専用種		単価：1,600円、出荷頭数：3,460頭																
	乳用種		単価：6,800円、出荷頭数：1,203頭																
	交雑種		単価：3,200円、出荷頭数：3,466頭																
	褐色和種		単価：6,000円、出荷頭数：7頭																
	その他肉専用種		—																
生乳増産対策支援事業	14,945,000	△4,245,000		△2,662,800	8,037,200	7,569,951	467,249	94.2											
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	<p>【流用】畜産振興費 公共育成牧場施設維持管理業務へ △162,800 畜産総務費 畜産課管理運営費へ △2,500,000</p> <p>生乳生産量6万トン以上の確保を目標に、乳用牛全頭のゲノム育種価検査を4年計画で進めるとともに、生乳生産性向上や省力化に取り組む6戸の酪農家の施設・機械整備等に対して支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業概要</th> <th>事業実施主体</th> <th>事業費(円)</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担い手施設整備対策事業</td> <td rowspan="2">大山乳業農協</td> <td>4,557,374</td> <td>牛舎二重屋根、遮熱塗装</td> </tr> <tr> <td>ゲノム育種価改良対策支援事業</td> <td>3,012,577</td> <td>905頭分を検査</td> </tr> </tbody> </table>								事業概要	事業実施主体	事業費(円)	説明	担い手施設整備対策事業	大山乳業農協	4,557,374	牛舎二重屋根、遮熱塗装	ゲノム育種価改良対策支援事業	3,012,577	905頭分を検査
事業概要	事業実施主体	事業費(円)	説明																
担い手施設整備対策事業	大山乳業農協	4,557,374	牛舎二重屋根、遮熱塗装																
ゲノム育種価改良対策支援事業		3,012,577	905頭分を検査																
第15回全日本ホルスタイン共進会对策事業	1,729,000			△1,500,000	229,000	1,387	227,613	1											
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	<p>【流用】畜産総務費 畜産課管理運営費へ △1,500,000</p> <p>【主な不用額の理由】新型コロナウイルスの影響で次回大会の予定が決まらず、大会に向けた取り組みが出来なかったため。</p> <p>第15回全日本ホルスタイン共進会への出品に向けた準備経費を対策委員会へ補助した。</p>																		

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A												
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A																
公共育成牧 場施設維持 管理業務	15,276,000	0	0	14,913,800	30,189,800	30,189,800	0	0	100												
事業計画と 実績・成果、 繰越、不用 額の理由等	<p>【流用】畜産振興費 畜産経営安定対策事業から 14,751,000 生乳増産対策支援事業から 162,800</p> <p>県営牧場の老朽化した設備の修繕等について、工事の適時即応、効率化を考慮し、牧場の管理者である（公財）鳥取県畜産振興協会（以下「協会」という。）に委託して実施した。 大山放牧場 みるくの里B B Q棟空調新設工事 鳥取放牧場 第2基地飼料倉庫、屋根改修工事 鳥取放牧場 堆肥舎避雷針改修工事</p>																				
畜産災害復 旧支援事業		20,000,000		△6,500 ,000	13,500,000	7,576,519	5,550 ,532	372,949	56.1												
事業計画と 実績・成果、 繰越、不用 額の理由等	<p>【繰越】畜産施設等復旧支援事業について、年度内に一部工事が完了できなかったため 【流用】畜産総務費 畜産課管理運営費へ△6,500,000</p> <p>令和3年7月7日からの記録的な大雨により、畜舎への浸水や土砂崩れ等で被災した畜産農家に対し、病気の発生予防や崩落箇所の補修、畜舎の補改修等の経費へ補助を行い、畜産物の生産継続及び復旧等への支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業概要</th> <th>事業実施主体</th> <th>事業費（円）</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家畜疾病予防対策事業</td> <td>大山乳業農協、JA鳥取中央</td> <td>1,372,824</td> <td>代替敷料、ビタミン剤、消毒剤等</td> </tr> <tr> <td>畜産施設等復旧支援事業</td> <td>倉吉市、三朝町、北栄町、琴浦町（間接補助）</td> <td>11,754,227（R3執行6,203,695、繰越5,550,532）</td> <td>畜舎の補改修、崩落箇所の補修等</td> </tr> </tbody> </table>									事業概要	事業実施主体	事業費（円）	説明	家畜疾病予防対策事業	大山乳業農協、JA鳥取中央	1,372,824	代替敷料、ビタミン剤、消毒剤等	畜産施設等復旧支援事業	倉吉市、三朝町、北栄町、琴浦町（間接補助）	11,754,227（R3執行6,203,695、繰越5,550,532）	畜舎の補改修、崩落箇所の補修等
事業概要	事業実施主体	事業費（円）	説明																		
家畜疾病予防対策事業	大山乳業農協、JA鳥取中央	1,372,824	代替敷料、ビタミン剤、消毒剤等																		
畜産施設等復旧支援事業	倉吉市、三朝町、北栄町、琴浦町（間接補助）	11,754,227（R3執行6,203,695、繰越5,550,532）	畜舎の補改修、崩落箇所の補修等																		
酪農第三者 継承モデル 事業		4,409,000			4,409,000	4,367,131		41,869	99.1												
事業計画と 実績・成果、 繰越、不用 額の理由等	<p>酪農において、新規就農者が第三者から経営継承するにあたり、必要な機械及び施設等に係る経費へ補助を行った。（事業期間5年間）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業費（円）</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大山乳業農業協同組合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>経営継承者</td> <td>1戸（米子市）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3導入機械及び施設</td> <td></td> <td>ダンプ、フォークリフト、運搬用電動リフト、飼槽修繕、ウォーターカップ、牛舎塗装、管理小屋、飼料倉庫（コンテナ）、牛舎・機械リース料</td> </tr> </tbody> </table>									事業実施主体	事業費（円）	説明	大山乳業農業協同組合			経営継承者	1戸（米子市）		R3導入機械及び施設		ダンプ、フォークリフト、運搬用電動リフト、飼槽修繕、ウォーターカップ、牛舎塗装、管理小屋、飼料倉庫（コンテナ）、牛舎・機械リース料
事業実施主体	事業費（円）	説明																			
大山乳業農業協同組合																					
経営継承者	1戸（米子市）																				
R3導入機械及び施設		ダンプ、フォークリフト、運搬用電動リフト、飼槽修繕、ウォーターカップ、牛舎塗装、管理小屋、飼料倉庫（コンテナ）、牛舎・機械リース料																			
飼料価格高騰による預託料負担軽減対策事業		7,000,000			7,000,000	7,000,000		0	100												
事業計画と 実績・成果、 繰越、不用 額の理由等	<p>飼料価格高騰により増加した公共育成牧場の飼料費の一部を県及び鳥取県畜産振興協会が負担することにより、預託料金の引き上げを抑制し、畜産農家経営の負担を軽減した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業費（円）</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県畜産振興協会</td> <td>7,000,000</td> <td>配合飼料、粗飼料（輸入乾牧草等）等</td> </tr> </tbody> </table>									事業実施主体	事業費（円）	説明	鳥取県畜産振興協会	7,000,000	配合飼料、粗飼料（輸入乾牧草等）等						
事業実施主体	事業費（円）	説明																			
鳥取県畜産振興協会	7,000,000	配合飼料、粗飼料（輸入乾牧草等）等																			

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A						
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減					計 A					
畜産災害代替飼料確保対策事業		15,000,00			15,000,000	15,000,000	0	100						
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	<p>令和3年台風9号により収穫直前の飼料用トウモロコシが倒伏して収穫不能となったことから、不足する飼料の代替粗飼料の共同購入にかかる経費について、国の補助事業（※）に上乗せする形で支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業費（円）</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大山乳業農業協同組合</td> <td>15,000,000</td> <td>配合飼料、粗飼料（輸入乾牧草等）等</td> </tr> </tbody> </table> <p>※国：酪農経営支援総合対策事業（中小酪農経営等生産基盤維持・強化対策事業のうち代替飼料の共同購入の支援） 国5円/kg、県5円/kg</p>								事業実施主体	事業費（円）	説明	大山乳業農業協同組合	15,000,000	配合飼料、粗飼料（輸入乾牧草等）等
事業実施主体	事業費（円）	説明												
大山乳業農業協同組合	15,000,000	配合飼料、粗飼料（輸入乾牧草等）等												
畜産クラスター施設整備事業			(1,136,023,000)		(1,136,023,000)	(360,237,000)	(7,680,000)	(768,106,000)	(31.7)					
			1,136,023,000	△18,182,000	1,136,023,000	360,237,000	7,680,000	768,106,000	31.7					
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	<p>【主な不用額の理由】事業予定者の事業延期及び、事業実施者の工期延期による減。 【繰越】新型コロナウイルス感染症の影響による資材不足により、計画を見直したため。</p> <p>主な事業に関する調べのとおり</p>													
目 計	687,488,000	145,089,000	(1,136,023,000)	△18,182,000	(1,136,023,000)	(360,237,000)	(7,680,000)	(768,106,000)	(31.7)					
(家畜保健衛生費)			1,136,023,000	△18,182,000	1,950,418,000	962,607,212	46,010,532	941,800,256	49.3					
家畜保健衛生所管理運営費	45,611,000	0		1,610,210	47,221,210	43,464,982		3,756,228	92.0					
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	<p>【流用】畜産総務費 畜産課管理運営費へ △804,600 家畜保健衛生費 家畜衛生総合対策事業から 1,800,000 家畜保健衛生費 特定家畜伝染病危機管理対策事業から 614,810</p> <p>1 鳥取・倉吉・西部各家畜保健衛生所の管理運営を行った。 2 動物用医薬品販売業及び動物用高度管理医療機器販売貸与業等の許認可事務を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>許可件数</td> <td>34件（店舗等：新規6件、更新12件、書換交付0件、再交付0件、販売従事登録：新規12件、再交付0件、書換交付4件）</td> </tr> </table> <p>3 各家保の診断体制向上のため、蒸留水製造装置（西部家保）を整備した。</p>								許可件数	34件（店舗等：新規6件、更新12件、書換交付0件、再交付0件、販売従事登録：新規12件、再交付0件、書換交付4件）				
許可件数	34件（店舗等：新規6件、更新12件、書換交付0件、再交付0件、販売従事登録：新規12件、再交付0件、書換交付4件）													
家畜衛生総合対策事業	43,622,000	0		△3,212,000	40,410,000	39,402,059	0	1,007,941	97.5					
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	<p>【流用】畜産総務費 畜産課管理運営費へ △1,412,000 家畜保健衛生費 家畜保健衛生所管理運営費へ △1,800,000</p> <p>1 家畜衛生関連情報整備対策 家畜伝染病監視情報の収集及び提供を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>情報収集</td> <td>3家保、対象512戸、疾病発生報告104戸</td> </tr> </table>								情報収集	3家保、対象512戸、疾病発生報告104戸				
情報収集	3家保、対象512戸、疾病発生報告104戸													

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				計 A	支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
事業計画と 実績・成果、 繰越、不用 額の理由等	2 動物用医薬品危機管理対策 動物用医薬品販売業への立入検査、畜産農家における薬剤耐性菌検査を実施した。								
	販売業への立入検査					40店舗			
	薬剤耐性菌検査(ブドウ球菌)					3検体			
	3 地域衛生管理対策 県内で問題となっている家畜の慢性疾病(牛の乳房炎、子牛・子豚の下痢・肺炎、牛伝染性リンパ腫)の発生低減対策とまん延防止の仕組みづくりをするための検査及び指導を行った。								
	牛の乳房炎検査					207戸			
	幼畜疾病対策					[下痢対策]牛1,423頭、豚758頭 [肺炎対策]牛1,423頭、豚1,749頭			
	牛伝染性リンパ腫清浄化対策					664頭			
	4 事業関連機器の整備 倉吉家畜保健衛生所に全自動核酸抽出装置及びリアルタイムPCRシステムを導入した。								
	5 家畜伝染病予防事業 家畜の伝染病予防とまん延防止を図るため、家畜伝染病の検査や防疫措置を行った。								
	検査実績頭数		牛 32,638 頭、馬 225 頭、豚 69,875 頭、羊 200 頭、鶏 402,087 羽、みつばち415群						
	法定伝染病発生状況		ヨーネ病3頭(1戸)						
	届出伝染病発生状況		牛伝染性リンパ腫33件(47頭)、牛ウイルス性下痢2件(3頭)、豚丹毒8件(24頭)、パロア病1件(10群)、アカリシダニ症4件(6群)						
	6 死亡牛BSE検査事業 96ヶ月齢以上の全ての死亡牛について、BSE検査を実施した。								
	検査実績		73頭(全頭陰性)						
7 家畜防疫事業基金 牛ウイルス性下痢の持続感染牛を自主的淘汰するための基金に助成した。									
実施主体			事業費(円)			補助金額(円)			
(公社)鳥取県畜産推進機構			3,745,324(県1/3、農協等2/3)			1,248,441			
8 鳥取県牛及び豚の予防接種促進費補助金 牛及び豚の伝染性疾病の発生予防のために、(公社)鳥取県畜産推進機構が行う予防接種の推進事業に対して助成を行った。									
予防接種対象疾病		実績頭数		備 考					
牛伝染性鼻気管炎(牛)		14,669頭		単 県					
アカバネ病(牛)		13,095頭							
豚丹毒(豚)		2,355頭							
特定家畜伝染病危機管理対策事業	128,978,000	2,938,000		3,385,190	135,301,190	42,281,202	0	93,019,988	31.2
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	【流用】家畜保健衛生費 家畜保健衛生所管理運営費へ △614,810 予備費 4,000,000(鳥インフルエンザ対策、豚熱対策) 【主な不用額の理由】特定家畜伝染病の発生がなかったため、処分作業等を行わなかった。 主な事業に関する調べのとおり								

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				計 A	支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A
	当初予算額	補正予算額	継続費・ 繰越事業 費繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減					
農場認証普及事業	970,000	0	0	0	970,000	235,600	0	734,400	24.3
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	【主な不用額の理由】新型コロナウイルスの影響で研修会がオンライン開催となり旅費等が不執行となった。								
	食の安全・安心のため、農場段階での工程管理システムである農場HACCPの取組の啓発及び取組農場の支援を行った。								
	調査研究		検討会 0回						
	研修会等開催		生産者向け研修会 0回						
	指導体制の強化		指導員育成研修会 3回						
	認定手数料等の助成		認証農場 3農場						
獣医師確保対策事業	764,000	0	0	0	764,000	561,000	0	203,000	73.4
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	主な事業に関する調べのとおり								
目 計	219,945,000	2,938,000		1,783,400	224,666,400	125,944,843		98,721,557	56.1
(畜産試験場費)									
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	197,191,000	6,169,000	0	3,360,000	206,720,000	191,106,036	12,685,000	2,928,964	92.4
	畜産試験場が実施する事業								
目 計	197,191,000	6,169,000	0	3,360,000	206,720,000	191,106,036	12,685,000	2,928,964	92.4
(中小家畜試験場費)									
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	73,270,000	0	0	0	73,270,000	70,957,650	0	2,312,350	96.8
	中小家畜試験場が実施する事業								
目 計	73,270,000	0	0	0	73,270,000	70,957,650	0	2,312,350	96.8
(建設災害復旧費)									
鳥取放牧場災害復旧事業	0	3,405,000	0	0	3,405,000	3,404,500	0	500	100
事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等	令和3年7月豪雨により発生した放牧場の被害について、復旧工事を行った。 家畜飲用水ポンプ移設 ポンプ施設の地盤が崩落したため、安全な場所に移設 堆肥舎裏の土砂撤去 土砂崩れで塞がれた業務通路上の土砂の撤去								
目 計	0	3,405,000	0	0	3,405,000	3,404,500	0	500	100
合 計	1,851,687,000	178,115,000	1,136,023,000	4,000,000	3,169,825,000	2,043,194,222	58,695,532	1,067,935,246	64.4
			(1,136,023,000)		(1,136,023,000)	(360,237,000)	(7,680,000)	(768,106,000)	(31.7)

8 予備費の充用調べ

(単位：円)

科 目 項 目 目 節	予 算 外 の 支 出 に 充 用 し た も の			充用した理由
	充 用 額	内 訳		
		執 行 額	執 行 残 額	
02畜産業費 03家畜保健衛生費 11需用費 02その他の需用費	4,000,000	2,647,590	1,352,410	令和3年11月に国内養鶏農場で高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生したことから、県内の防疫体制強化のため、養鶏農場へ消石灰の配布を行った。
合 計	4,000,000	2,647,590	1,352,410	

9 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況 該当なし

(2) つり銭の状況 該当なし

10 財産に関する調べ
(1)公有財産
了土地

財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況		本年度末		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)		登記年月日	面積(m ²)
行政財産	畜産試験場	琴浦町松谷字西高野606-1外	275,476.86	5,474,434	増加	R		275,476.86	5,474,434		
	中小家畜試験場	南郡町北方山ノ奥尻1216-1外	126,615.78	不明	減少	R		126,615.78	不明		
	鳥取家畜保健衛生所	鳥取市国安字高土手210-9・210-13	3,825.04	0	増加	R		3,825.04	0		
	倉吉家畜保健衛生所	倉吉市清谷町二丁目131・132・133	1,701.15	54,416,046	増加	R3.9.13	2,005.30	3,706.45	54,416,046	名称変更	
	死亡牛一時保管施設	琴浦町松谷字西高野606-8外	0.00	不明	増加	R3.9.13	1,211.40	0.00	不明	倉吉家保	
	死亡牛一時保管施設	琴浦町松谷字西高野606-8外	0.00	不明	減少	R3.9.13	△ 1,211.40	0.00	不明	倉吉家保	
	西部家畜保健衛生所	尾606-8外	0.00	不明	増加	R3.9.13	793.90	0.00	不明	倉吉家保	
	西部家畜保健衛生所	伯耆町金屋谷字段ノ原1540-16・1540-17	3,167.58	14,027,195	増加	R		3,167.58	14,027,195		
	(元)鳥取農業高等学校	鳥取市湖山町南五丁目812	2,903.17	不明	減少	R		2,903.17	不明		
	計			413,689.58	73,917,675	増加	R	2,005.30	0.00	73,917,675	
	普通財産	中小家畜試験場	南郡町絹屋門ナシ108外	62,251.82	15,010,286	減少	R		62,251.82	15,010,286	
		西部家畜保健衛生所	伯耆町金屋谷字段ノ原1540-17	10.58	60,808	増加	R		10.58	60,808	
		大山放牧場	伯耆町小林字水無原2-5外	1,367,742.20	不明	減少	R		1,367,742.20	不明	
		鳥取放牧場	鳥取市越路字破山737-1外	1,921,564.69	不明	増加	R		1,921,564.69	不明	
		鳥取放牧場	鳥取市国府町雨滝字河合谷956-1外	1,268,872.00	不明	増加	R		1,268,872.00	不明	
鳥取放牧場		鳥取市河原町北村字兵田山891-16外	1,348,634.34	不明	減少	R		1,348,634.34	不明		
死亡牛一時保管施設		琴浦町松谷字西高野606-8外	1,211.40	不明	増加	R3.9.13	△ 1,211.40	0.00	不明	行政財産	
死亡牛一時保管施設		琴浦町松谷字西高野606-8外	793.90	不明	増加	R		0.00	不明	行政財産	
(元)八橋警察署		東伯郡琴浦町八橋645	7,187.97	41,515,573	増加	R		7,187.97	41,515,573		
計				5,978,268.90	56,586,667	減少	R	△ 2,005.30	0	56,586,667	
合計				6,391,958.48	130,504,342			0.00	0	130,504,342	

(令和4年3月31日現在)

イ 建物

(令和4年3月31日現在)

財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記平方 米		面積(m ²)	価額(円)
行政 財産	畜産試験場	琴浦町松谷606	12,328.90	1,158,205,175	増加 R				R1.8.9	12,328.90	1,158,205,175		
	中小家畜試験場	南部町北方633	6,009.52	671,641,438	減少 R					6,009.52	671,641,438		
	中小家畜試験場 絹屋分場敷	南部町絹屋	127.52	0	増加 R					127.52	0		
	鳥取家畜保健衛生所	鳥取市国安字高 土手210-9外	834.97	39,814,500	減少 R					834.97	39,814,500		
	倉吉家畜保健衛生所	倉吉市清谷町二 丁目132	1,312.89	451,155,600	増加 R	R3.9.13	149.81	40,881,570					
	死亡牛一時保管施設	琴浦町松谷606-8	0.00	0	増加 R	R3.3.30	27.32	11,330,000	R2増築		1,462.70	492,037,170	
	西部家畜保健衛生所	伯耆町金屋谷字段ノ 原1540-16,1540-17	860.10	262,045,058	減少 R	R3.9.13	122.49	40,881,750			0.00	262,045,058	倉吉家 保へ
	計			21,473.90	2,582,861,771	増加 R		149.81	52,211,570		21,623.71	2,623,743,341	
				2,729.99	156,006,898	減少 R					2,729.99	156,006,898	
				7,932.12	1,411,110,300	増加 R					7,932.12	1,411,110,300	
			9,981.92	不明	減少 R					9,981.92	不明		
			779.40	71,584,000	増加 R					779.40	71,584,000		
			447.55	30,003,400	減少 R					447.55	30,003,400		
			904.84	30,030,817	増加 R					904.84	30,030,817		
			122.49	40,881,750	減少 R					0.00	0	行政財 産へ	
			1,111.59	59,560,160	増加 R	R3.9.13	122.49	40,881,750		1,111.59	59,560,160		
			24,009.90	1,799,177,325	減少 R		(122.49)	-40,881,750		23,887.41	1,758,295,575		
計			45,483.80	4,382,039,096			27.32	11,329,820		45,511.12	4,382,038,916		
合計													

ウ 山林 該当なし

エ 不動産売却等 該当なし

オ 財産の交換 該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

キ 物権 該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

(ア) 異動状況

(令和4年3月31日現在)

区分	前年度末(件)	本年度中(件)		本年度末(件)	備考
		増	減		
商標権	2	0	0	2	
合計	2	0	0	2	

(イ) 出願及び登録の状況

(令和4年3月31日現在)

区分	名称	出願日	登録日	活用の有無
商標権	「鳥取地どりピヨ」の商標登録に係る権利	(H11.10.18) H21.10.5	(H11.12.3) H21.10.29	有
	「大山ルビ—(RB)」の商標登録に係る権利	(H22.2.18) R2.12.23	(H23.1.7) R3.1.7	無
出願中	0件	登録	2件	

(ウ) 活用の状況

(令和4年3月31日現在)

権利・品種名	相手方	契約年月日	契約期間	実施料収入額	利用料の算定式	減免の有無
「鳥取地どりピヨ」の商標登録に係る権利	個人	H13.3.19	期限なし	徴収しない	—	—
	(株)ふるさと鹿	H17.1.17	期限なし	徴収しない	—	—
	(株)あべ鳥取	H19.7.3	期限なし	徴収しない	—	—
	個人	H20.7.16	期限なし	徴収しない	—	—
	夢食研(株)	H24.6.22	期限なし	徴収しない	—	—

ケ 有価証券 該当なし

コ 出資による権利

(令和4年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本 年 度 中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出 捐 金	円 60,000	円	円	円 60,000	(公財)鳥取県畜産振興協会	
	1,000,000			1,000,000	(公財)中国四国酪農大学校	
	711,000			711,000	鳥取県農業信用基金協会	
出 資 金	101,000,000			101,000,000	(公社)鳥取県畜産振興協会	
	210,000,000			210,000,000	(公社)鳥取県畜産推進機構	鳥取県ふるさと獣医師確保事業
	10,000,000			10,000,000	(公社)鳥取県畜産推進機構	畜産自衛防疫事業基金
	45,000,000			45,000,000	(公社)鳥取県畜産推進機構	肉用子牛価格安定事業基金
	1,020,000			1,020,000	鳥取県農業信用基金協会	
	15,997,828		4,208,049	11,789,779	大山乳業農業協同組合	鳥取県酪農ヘルパー事業基金
	4,900,000			4,900,000	(一社)家畜改良事業団	
	3,000,000			3,000,000	(公社)日本食肉格付協会	
	2,000,000			2,000,000	(一社)日本養鶏協会	
	1,000,000			1,000,000	(一社)日本家畜商協会	
200,000			200,000	(一社)日本草地畜産種子協会		
合 計	395,888,828	0	4,208,049	391,680,779		

(2)金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和4年3月31日現在)

前年度末 未使用枚数	本 年 度 中		本年度末	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 25		枚 0 円 0	枚 25	

(3)基 金

(令和4年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
鳥取県和牛振興戦略基金	円 477,638,594	円 (67,110,780) 300,898,291	円 188,291,596	円 590,245,289	
合 計	477,638,594	300,898,291	188,291,596	590,245,289	

(4) 債 権

(令和4年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
	件数	金額	増		減		件数	金額	
			件数	金額	件数	金額			
行政財産 使用料		円		円		円		円	
	1	22,500	1	83,700		34,740	2	71,460	畜産試験場
	1	0	1	2,880			2	2,880	中小家畜試験場
	1	66,000				16,500	1	49,500	鳥取家畜保健衛生所
財産貸付 収入	0	0	1	42,000			1	42,000	西部家畜保健衛生所
	12	24,048,385	4	719,087		2,087,584	16	22,679,888	畜産課
	2	4,412,696				2,206,348	2	2,206,348	畜産試験場
	2	2,865				359	2	2,506	中小家畜試験場
	1	4,863				1,621	1	3,242	鳥取家畜保健衛生所
貸付金	1	2,960				740	1	2,220	西部家畜保健衛生所
合 計	21	28,560,269	7	847,667	0	4,347,892	28	25,060,044	

11 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物
ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
普通財産	いのしし侵入防止柵用地	西伯郡伯耆町小林6 大山放牧場	750.00㎡	R3.6.1	R3.6.1	R3.6.1 ~ R6.3.31	月額・年額 855	712	西伯郡伯耆町小林6 大山ゴルフクラブ	21-00043442 (新規)	
	水道管敷設用地	琴浦町大字八橋字 五輪山645 旧八橋警察署跡地	5.92㎡	R3.4.1	R1.5.1	R3.4.1 ~ R4.3.31	月額・年額 606	606	倉吉市福守町415番地2 とっとり中部ふるさと広域連合	20-00303113 (更新)	
	排水管・送水管敷設用地	鳥取市河原町弓河 内字兵円山 鳥取放牧場兵円牧 野	58㎡	R3.4.1	H23.5.18	R3.4.1 ~ R8.3.31	月額・年額 968	968	鳥取市国安210番地3 鳥取市水道局	20-00294010 (更新)	
	風力発電	鳥取市久末字空山 594ほか4筆 鳥取放牧場	601.018㎡ 電柱・支線 49本 ハンドホール、 マンホール 10ヶ 所 ケーブル配管、 ハンドホール排 水管 2,292.400m	R3.4.1	H21.4.1	R3.4.1 ~ R6.3.31	96,840	96,840	鳥取市東町一丁目271 鳥取県企業局	20-00319646 (更新)	
	太陽光発電	鳥取市久末字空山 594ほか2筆 鳥取放牧場	2,628.56㎡	R3.4.1	H27.1.5	R3.4.1 ~ R6.3.31	月額・年額 139,355	139,355		20-00314575 (更新)	
合計								238,481			

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
普通財産	大山まきばのレストラン等の営業販売	西伯郡伯耆町小林 水無原2-11 大山放牧場 畜産物加工展示販売施設	151.83㎡	R3.4.3	R3.4.3	R3.4.3 ~ R3.12.5	月額・年額 425,420	425,420	東伯郡琴浦町保37-1 大山乳業農業協同組合	20-00312770 (新規)	
合計								425,420			

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所名 氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
ラッピングマシン	1	ウンダーハウケ社7510W-750	R3.4.1～ R6.3.31 (変更契 約日は備 考欄に記 載)	無償	鳥取市越 路字蓬谷 775-1 (公財)鳥 取県畜産 振興協会	鳥取 放牧場	牧場運営		
ロールペーラ	1	スター-TRB3050							
切返装置ローダー	1	TCMホイールローダー切替機1式							
ホイールショベル	1	コマツWAZO-2E							
トラクター	1	マッセイファーガソン製 MF6260-4cs							
トラクター	2	マッセイファーガソン製 MF5455-4FDX							
クリーチベンチ	1	ヤマト科学 ADW-130							
ホイールローダー	1	TCM L13-3							
草地簡易更新機	1	エイチソン シードマチック3116CT							
TMRミキサー	1	トリオリット SOLOMIX-2 SMD1200							
超音波診断装置	2	イザオテ・ヨーロッパ社 トリンガVリニア							
ハイエT車	1	トヨタハイエ-SDX							
小型四輪貨物自動車	1	FG50EB-5506				R3.4.1～ R3.6.24			
ラウンドペールサイレー ジチョッパー	1	タフ社ペールテイストリビュータCD12				大山 放牧場			
インフォメーション	1	丸仕器							
トラクター	1	マッセイファーガソン製 MF5455-4FDX							
オガ粉製造機	1	YSCK1600、GKW1200 II							
ホイールショベル	1	コマツWAZO-2E							
トラクター	1	マッセイファーガソン製 MF5455-4FDX				俵原牧野			
合計									

12 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況				借受先 住所名	備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円)			
							単価	本年度の借料		
土地	原野	俵原牧野用地	東伯郡三朝町俵原	675,919.50	有	S45.4.1~	月額・年額 924,482	924,482	東伯郡三朝町大瀬999-2 三徳財産区 管理者 三朝町長	
	山林	河合谷牧野用地	鳥取市国府町雨滝	1,000,000.00	有	S49.4.1~	月額・年額 2,083,300	2,083,300	個人3名	
	原野	河合谷牧野用地	岩美郡岩美町鳥越字大谷	144,090.00	有	S62.10.1~	月額・年額 95,661	95,661	個人2名	
	原野	倉吉家畜保健衛生所に係る水道施設用地	東伯郡琴浦町松谷	給水管HLPV φ20 11.98 m他	有	H20.11.20 ~ H35.11.19	月額・年額	無償	東伯郡琴浦町徳万591-2 琴浦町長	
合計								3,103,443		

13 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

14 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

15 備品の処分状況調べ

品名 (規格、銘柄等)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定 年月日	処分					備考
			売払売却の別	売払方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払額	処分費用	
小型四輪貨物自動車FG50EB	2000/10/4	2021/7/21	売却	見積合せ	2021/7/21	55,000円	7,120円	
合計								

16 貸付金等状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1)業務に関する要望等

特になし

(2)監査委員事務局に対する意見・要望等

特になし

